

〔歯科診療〕

6 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,255.8点で、前年に比べ106.9点、7.8%減少している。

1日当たり点数は、581.2点で、前年に比べ17.9点、3.0%減少している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」265.0点(構成割合45.6%)が最も高く、次いで「処置」91.8点(15.8%)、「初・再診」67.8点(11.7%)の順となっている。

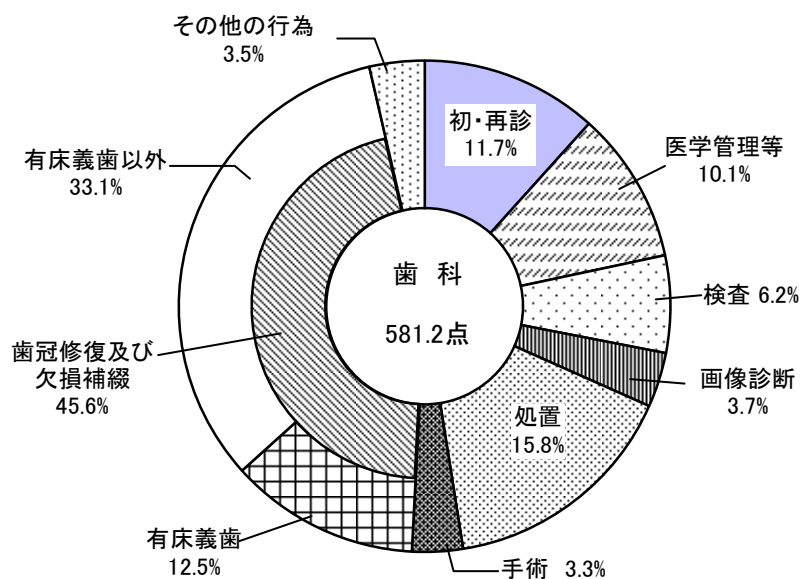
1件当たり日数は2.16日で、前年に比べ0.11日減少している。(表9、図11)

表9 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成18年	平成17年	対前年		平成18年	平成17年	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 255.8	1 362.7	△ 106.9	△ 7.8	581.2	599.1	△ 17.9	△ 3.0
初・再診	146.5	193.2	△ 46.7	△ 24.2	67.8	85.0	△ 17.2	△ 20.2
医学管理等	126.9	113.2	13.7	12.1	58.7	49.8	8.9	18.0
在宅医療	9.1	7.4	1.7	22.9	4.2	3.2	1.0	29.3
検査	78.2	75.6	2.6	3.4	36.2	33.3	2.9	8.8
画像診断	46.7	48.9	△ 2.2	△ 4.4	21.6	21.5	0.1	0.6
処置	22.3	25.4	△ 3.0	△ 12.0	10.3	11.2	△ 0.8	△ 7.3
注射	1.2	1.5	△ 0.4	△ 25.5	0.5	0.7	△ 0.1	△ 21.6
リハビリテーション	0.1	0.2	△ 0.1	△ 46.4	0.0	0.1	△ 0.0	△ 43.6
処置	198.5	220.7	△ 22.2	△ 10.1	91.8	97.0	△ 5.2	△ 5.3
手術	42.0	45.4	△ 3.3	△ 7.4	19.4	19.9	△ 0.5	△ 2.5
麻酔	2.9	3.6	△ 0.6	△ 18.0	1.4	1.6	△ 0.2	△ 13.7
放射線治療	0.2	0.2	△ 0.0	△ 15.1	0.1	0.1	△ 0.0	△ 10.6
歯冠修復及び欠損補綴	572.5	618.7	△ 46.2	△ 7.5	265.0	272.0	△ 7.0	△ 2.6
歯科矯正	1.4	0.9	0.4	47.2	0.6	0.4	0.2	55.0
入院料等	7.3	7.7	△ 0.4	△ 5.1	3.4	3.4	△ 0.0	△ 0.1
(1件当たり日数)	(2.16)	(2.27)						

図11 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

7 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,210.2 点、老人医療 1,565.4 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 570.1 点、老人医療 647.7 点で、年齢階級別にみると、「75歳以上」653.6 点が最も高く、次いで「65～74歳」602.3 点となっており、「0～14歳」456.8 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.12 日、老人医療 2.42 日となっている。(表10、図12)

表10 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

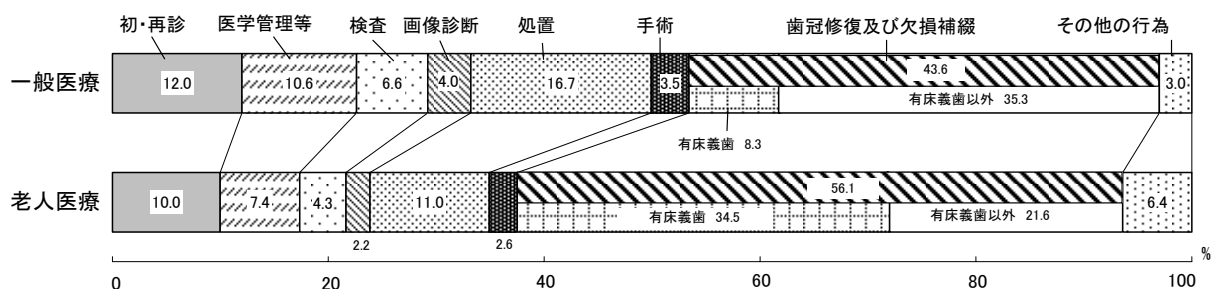
(平成18年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 210.2	1 565.4	719.9	1 209.6	1 300.5	1 440.5	1 566.8
初診	145.1	156.1	158.7	147.9	139.3	145.2	156.2
再診	128.6	115.4	107.0	130.8	133.0	131.7	113.5
在宅医療	2.0	57.0	-	-	2.9	10.9	60.0
検査	79.8	67.2	20.6	97.3	89.6	79.0	66.4
画像診断	48.5	34.9	25.8	69.3	46.2	41.9	33.8
投薬	22.3	22.5	7.2	27.7	24.2	22.9	21.9
注射	1.0	2.5	0.1	1.2	1.1	1.5	1.8
リハビリテーション	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2
処置	202.2	172.7	94.0	230.0	222.8	202.1	166.7
手術	42.2	40.7	28.1	49.0	41.7	46.8	37.5
麻酔	3.1	2.0	1.3	5.7	2.6	2.2	1.7
放射線治療	0.1	0.5	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4
歯冠修復及び欠損補綴	527.5	878.1	273.7	436.5	591.1	747.1	892.5
歯科矯正等	1.6	-	1.5	5.2	0.0	-	-
入院料等	6.1	15.5	1.7	8.9	5.8	8.8	14.2
1 日 当 た り 点 数							
総数	570.1	647.7	456.8	577.4	582.3	602.3	653.6
初診	68.3	64.6	100.7	70.6	62.4	60.7	65.2
再診	60.6	47.7	67.9	62.4	59.5	55.0	47.3
在宅医療	1.0	23.6	-	-	1.3	4.5	25.0
検査	37.6	27.8	13.1	46.5	40.1	33.0	27.7
画像診断	22.8	14.4	16.4	33.1	20.7	17.5	14.1
投薬	10.5	9.3	4.6	13.2	10.8	9.6	9.2
注射	0.5	1.0	0.1	0.6	0.5	0.6	0.8
リハビリテーション	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
処置	95.3	71.5	59.6	109.8	99.8	84.5	69.5
手術	19.9	16.8	17.8	23.4	18.7	19.6	15.6
麻酔	1.5	0.8	0.8	2.7	1.1	0.9	0.7
放射線治療	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2
歯冠修復及び欠損補綴	248.5	363.3	173.7	208.3	264.7	312.4	372.3
歯科矯正等	0.7	-	1.0	2.5	0.0	-	-
入院料等	2.9	6.4	1.1	4.2	2.6	3.7	5.9
1 件 当 た り 日 数							
	2.12	2.42	1.58	2.10	2.23	2.39	2.40

注: 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図12 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

8 傷病分類別にみた1日当たり点数

1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「顎、口腔の嚢胞」が最も高く、それぞれ2,519.2点、2,090.2点となっており、次いで「新生物」が高く、それぞれ1,244.3点、1,255.0点となっている。
(表11)

表11 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成18年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	570.1	647.7
う蝕	586.1	711.5
感染を伴わない歯牙慢性硬組織疾患	283.2	288.9
歯髄炎等	578.2	651.5
根尖性歯周炎(歯根膜炎)等	492.3	530.9
歯肉炎	429.8	434.8
歯周炎等	496.5	509.9
歯冠周囲炎	426.8	297.7
顎、口腔の炎症及び膿瘍	782.4	688.5
顎、口腔の先天奇形及び発育障害	713.0	688.3
顎機能異常	555.7	399.4
顎、口腔の嚢胞	2 519.2	2 090.2
顎骨疾患等	661.0	1 273.2
口腔粘膜疾患	274.0	334.7
新生物	1 244.3	1 255.0
口腔、顔面外傷及び癒合障害等	618.1	563.9
補綴関係(歯の補綴)	845.0	758.8
その他	740.5	887.2

注：傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

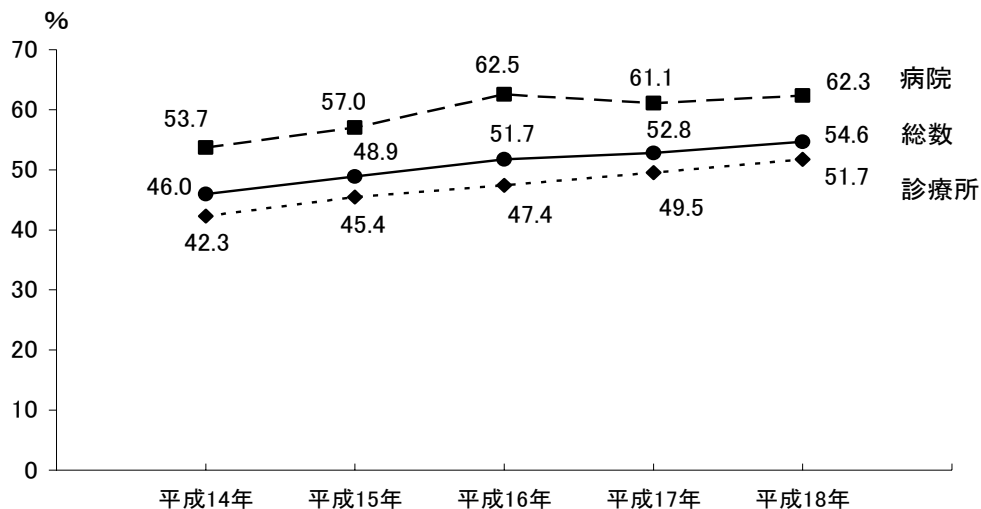
〔院外処方〕

9 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で54.6%となっており、前年(52.8%)に比べ1.9ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院62.3%、診療所51.7%と病院の方が高く、前年に比べ病院では1.3ポイント、診療所では2.2ポイント上昇している。(図13)

図13 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注：院外処方率とは、「処方料」及び「処方せん料」の合計算定回数に対する「処方せん料」算定回数の割合である。

〔薬局調剤〕

10 調剤行為の状況

1件当たり点数は 959.0 点で、前年に比べ 2.8 点、0.3%減少している。

処方せんの受付1回当たり点数は 666.5 点で、前年に比べ 5.7 点、0.8%減少している。調剤行為別にみると、「薬剤料」476.3 点が最も高く、次いで「調剤技術料」152.8 点、「薬学管理料」36.7 点となっている。

1件当たり受付回数は1.44 回で、前年に比べ0.01 回増加している。

一般医療、老人医療別にみると、1件当たり点数は一般医療 822.1 点、老人医療 1,362.0 点、受付1回当たり点数は一般医療 594.3 点、老人医療 850.1 点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、一般医療、老人医療ともに「薬剤料」の割合が約7割となっている。(表12・13、図14)

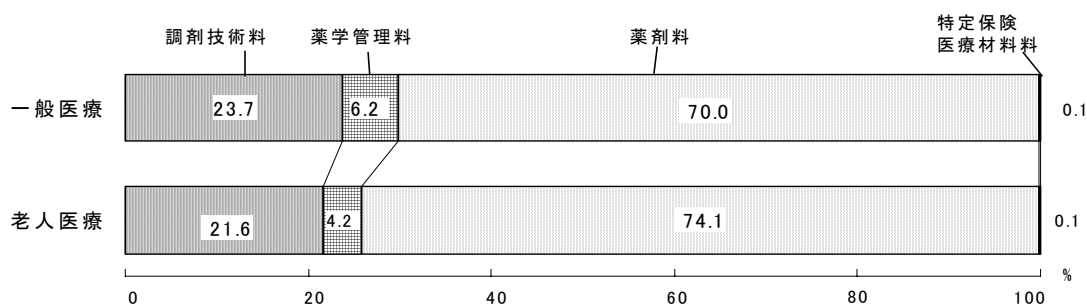
表12 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	1件当たり点数				受付1回当たり点数			
	平成18年	平成17年	対前年		平成18年	平成17年	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	959.0	961.8	△ 2.8	△ 0.3	666.5	672.2	△ 5.7	△ 0.8
調剤技術料	219.8	217.3	2.5	1.1	152.8	151.9	0.9	0.6
薬学管理料	52.8	52.7	0.1	0.3	36.7	36.8	△ 0.1	△ 0.3
薬剤料	685.3	690.4	△ 5.1	△ 0.7	476.3	482.5	△ 6.2	△ 1.3
特定保険医療材料料	0.9	1.3	△ 0.3	△ 27.4	0.6	0.9	△ 0.2	△ 27.8
(1件当たり受付回数)	(1.44)	(1.43)						

表13 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
				1件当たり点数				
総数	959.0	822.1	1 362.0	479.6	622.9	932.4	1 173.7	1 351.8
調剤技術料	219.8	194.5	294.3	187.8	155.9	198.2	239.8	296.6
薬学管理料	52.8	51.3	57.3	61.2	47.5	47.9	53.0	57.5
薬剤料	685.3	575.4	1 008.9	230.6	419.2	685.2	878.8	996.5
特定保険医療材料料	0.9	0.8	1.2	0.0	0.4	1.1	1.7	0.9
				受付1回当たり点数				
総数	666.5	594.3	850.1	315.7	488.3	692.3	807.7	839.6
調剤技術料	152.8	140.6	183.7	123.6	122.2	147.1	165.0	184.2
薬学管理料	36.7	37.1	35.8	40.3	37.2	35.6	36.5	35.7
薬剤料	476.3	416.0	629.7	151.7	328.6	508.8	604.8	618.9
特定保険医療材料料	0.6	0.6	0.8	0.0	0.3	0.8	1.2	0.6
				1件当たり受付回数				
	1.44	1.38	1.60	1.52	1.28	1.35	1.45	1.61

図14 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合 (平成18年6月審査分)



II 薬剤の使用状況

1 薬剤料の比率

医科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 21.7%、入院 11.2%、入院外 33.0%となっており、そのうち、「投薬」及び「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、19.4%、9.4%、30.1%となっている。

前年と比較すると、医科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 0.4 ポイント、入院で 1.1 ポイント、入院外で 0.5 ポイント低下している。

歯科総点数に占める薬剤料の割合は、1.0%となっている。

薬局調剤総点数に占める薬剤料の割合は 71.5%となっており、前年に比べ、0.3 ポイント低下している。

また、薬局調剤分を医科、歯科それぞれに合算して求めた薬剤料の割合は、医科総数で 28.6%、歯科で 1.2%となっている。(表 14、図 15)

表 14 医科（入院 - 入院外） - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移

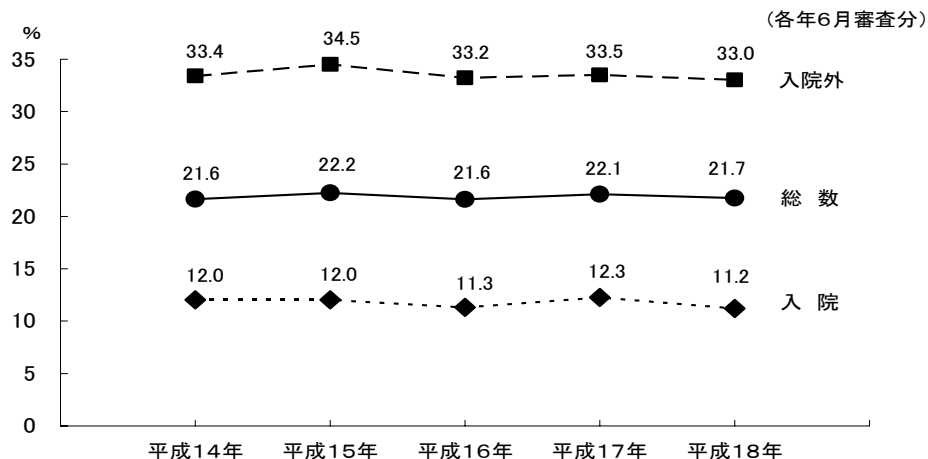
(単位：%)

(各年6月審査分)

		医科－歯科－薬局調剤別 1)					医科－歯科に薬局調剤分 (調剤報酬明細書分)を含めた場合 2)			
		平成14年 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	
医 科	総 数	薬剤料	21.6	22.2	21.6	22.1	21.7	27.5	28.7	28.6
		投薬・注射	18.9	19.6	19.2	19.8	19.4	25.3	26.8	26.9
		投薬	13.6	13.9	13.7	13.9	14.3	20.7	21.7	22.5
		注射	5.3	5.7	5.4	5.9	5.1	4.6	5.1	4.4
		その他の薬剤料	2.7	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	1.9	1.7
	入 院	薬剤料	12.0	12.0	11.3	12.3	11.2	11.3	12.3	11.2
		投薬・注射	9.7	9.8	9.4	10.4	9.4	9.4	10.4	9.4
		投薬	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6	2.5	2.5	2.6
		注射	7.1	7.1	6.9	7.9	6.9	6.9	7.9	6.9
		その他の薬剤料	2.3	2.2	2.0	1.9	1.8	2.0	1.9	1.8
	入 院 外	薬剤料	33.4	34.5	33.2	33.5	33.0	35.8	37.0	36.6
		投薬・注射	30.2	31.5	30.2	30.6	30.1	33.5	35.1	34.9
投薬		27.1	27.4	26.4	27.0	26.9	30.1	31.5	31.6	
注射		3.1	4.1	3.8	3.6	3.2	3.4	3.6	3.3	
その他の薬剤料		3.2	3.0	3.0	2.9	2.9	2.3	1.9	1.7	
歯 科	薬剤料	0.9	1.0	1.0	1.1	1.0	1.2	1.3	1.2	
薬 局 調 剤	薬剤料	67.8	70.0	70.9	71.8	71.5				

- 注：1) 「医科」及び「歯科」分では、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。
 2) 「薬局調剤分(調剤報酬明細書分)を含めた場合」では、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書のみ除外し、薬局調剤分の総点数、薬剤料を医科、歯科にそれぞれ合算している。
 3) 「薬剤料」とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。ただし、「薬局調剤分(調剤報酬明細書分)を含めた場合」では、薬局調剤分の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。
 4) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
 5) 入院時食事療養費(円)は、点数換算(入院時食事療養費÷10)して総点数に含めている。

図 15 総数 - 入院 - 入院外別にみた医科の薬剤料の比率の年次推移



2 院内処方（入院外・投薬）及び院外処方（薬局調剤）における薬剤点数

薬剤点数階級別件数の構成割合を入院外の投薬（以下「院内処方」という。）、薬局調剤（以下「院外処方」という。）別にみると、ともに「500点未満」が最も多く、それぞれ68.1%、61.6%となっている。また、一般医療、老人医療別にみると、老人医療は一般医療に比べて「1000点以上」の割合が高い。（表15、図16）

表15 院内処方 - 院外処方 - 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合

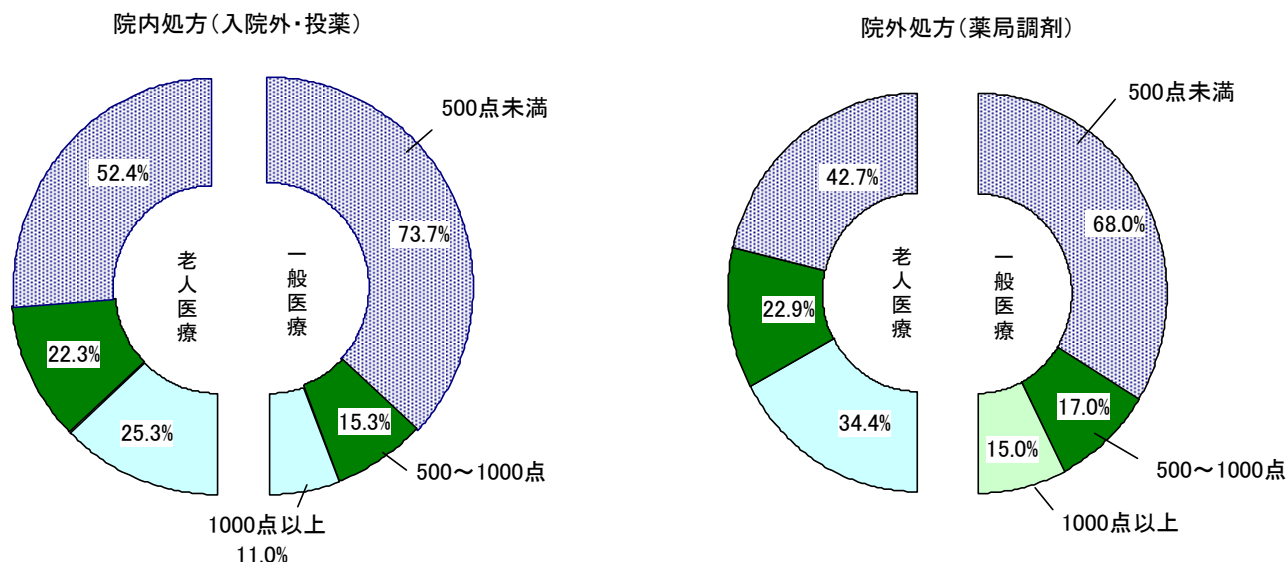
(単位:%) (平成18年6月審査分)

	総数	500点未満						500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	
		総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400	400～500					
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	68.1 (67.7)	25.7 (25.8)	16.6 (16.7)	11.7 (11.6)	7.6 (7.4)	6.4 (6.3)	17.2 (17.4)	7.2 (7.1)	3.4 (3.5)	4.2 (4.2)	
一般医療	100.0	73.7	29.4	18.4	12.3	7.5	6.1	15.3	5.6	2.4	2.9	
老人医療	100.0	52.4	15.5	11.8	10.1	7.9	7.1	22.3	11.6	6.2	7.5	
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	61.6 (60.3)	21.1 (20.0)	15.5 (15.3)	11.2 (11.1)	7.3 (7.4)	6.4 (6.4)	18.5 (18.9)	8.5 (9.1)	4.7 (4.6)	6.8 (7.1)	
一般医療	100.0	68.0	23.9	17.6	12.3	7.6	6.5	17.0	6.9	3.4	4.7	
老人医療	100.0	42.7	12.7	9.3	8.1	6.5	6.0	22.9	13.1	8.3	13.0	
院内処方	0～14歳	100.0	93.3	53.7	22.3	10.0	4.8	2.6	4.9	1.1	0.4	0.2
	15～39歳	100.0	86.0	38.7	23.7	12.3	7.0	4.3	8.9	2.8	1.0	1.4
	40～64歳	100.0	68.0	22.1	16.7	13.4	8.0	7.8	19.0	6.5	2.8	3.7
	65～74歳	100.0	58.3	17.5	13.7	11.4	8.6	7.1	21.7	10.2	4.3	5.4
	75歳以上	100.0	52.6	15.8	11.5	10.1	8.0	7.3	22.2	11.4	6.4	7.4
院外処方	0～14歳	100.0	89.7	43.2	22.3	13.0	6.7	4.4	7.9	1.7	0.5	0.4
	15～39歳	100.0	80.3	28.1	23.6	14.4	8.6	5.6	12.2	3.9	1.6	2.0
	40～64歳	100.0	60.1	17.2	15.4	12.3	7.5	7.7	20.7	8.7	4.4	6.1
	65～74歳	100.0	49.8	14.5	11.3	9.5	7.4	7.1	22.7	11.5	6.4	9.7
	75歳以上	100.0	42.5	12.6	9.4	8.1	6.4	6.0	23.1	13.2	8.4	12.8

注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 「院内処方」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成17年6月審査分

図16 院内処方 - 院外処方別にみた薬剤点数別件数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注: 院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

3 薬価階級別薬剤点数

薬価階級別薬剤点数の構成割合を院内処方、院外処方別にみると、ともに「250円未満」が最も多く、それぞれ82.2%、80.2%となっている。

また、一般医療、老人医療別にみると、一般医療は老人医療に比べて「500円以上」の割合が高い。(表16、図17)

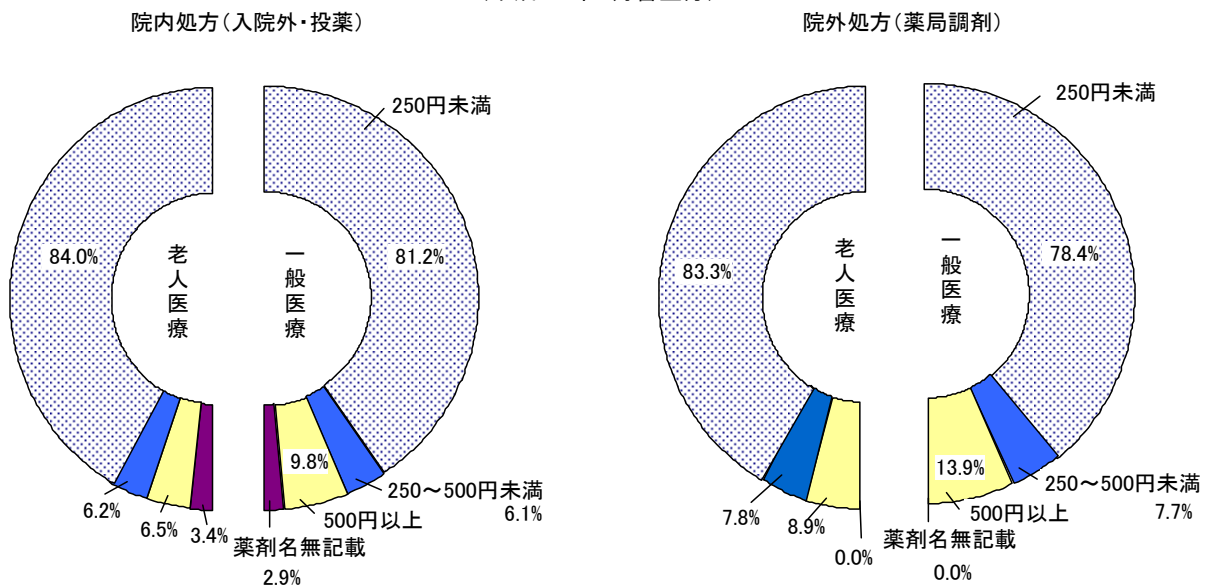
表16 院内処方 - 院外処方 - 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合

	総数	250円未満						250~500	500円以上	薬剤名無記載	
		総数	50円未満	50~100円未満	100~150	150~200	200~250				
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	82.2 (82.1)	31.4 (29.4)	24.6 (24.5)	13.3 (10.6)	11.2 (12.5)	1.7 (5.2)	6.1 (6.2)	8.6 (8.2)	3.1 (3.4)	
一般医療	100.0	81.2	30.3	24.6	13.5	11.1	1.7	6.1	9.8	2.9	
老人医療	100.0	84.0	33.3	24.7	12.9	11.4	1.7	6.2	6.5	3.4	
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	80.2 (81.8)	29.2 (29.1)	23.7 (24.0)	14.1 (11.4)	11.1 (11.7)	2.2 (5.8)	7.7 (7.3)	12.0 (10.8)	0.0 (0.0)	
一般医療	100.0	78.4	27.7	23.5	14.2	10.9	2.0	7.7	13.9	0.0	
老人医療	100.0	83.3	31.8	24.1	13.8	11.2	2.3	7.8	8.9	0.0	
院内処方	0~14歳	100.0	75.0	25.7	24.5	22.0	2.1	0.6	18.0	5.2	1.9
	15~39歳	100.0	76.9	33.8	20.7	12.6	7.5	2.3	7.1	14.0	2.1
	40~64歳	100.0	81.4	29.8	25.2	12.5	12.3	1.6	5.5	10.1	2.9
	65~74歳	100.0	84.3	31.4	25.3	13.7	12.3	1.6	4.7	7.8	3.2
	75歳以上	100.0	83.6	32.9	24.7	12.9	11.3	1.8	6.3	6.6	3.5
院外処方	0~14歳	100.0	72.9	24.8	23.6	21.6	1.5	1.5	17.2	9.9	-
	15~39歳	100.0	72.9	30.1	20.1	13.2	7.1	2.4	6.9	20.2	-
	40~64歳	100.0	79.5	27.6	24.1	13.0	12.7	2.1	7.1	13.4	0.0
	65~74歳	100.0	80.8	28.2	24.2	14.2	12.2	1.9	6.8	12.4	0.0
	75歳以上	100.0	83.8	32.1	24.1	14.0	11.3	2.4	7.9	8.3	0.0

- 注: 1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 「院内処方」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成17年6月審査分

図17 院内処方 - 院外処方別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注: 院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

4 薬剤種類数

薬剤種類数別件数の構成割合を院内処方、院外処方別にみると、「1～2種類」が最も多く、それぞれ43.8%、39.4%となっている。1件当たり薬剤種類数をみると、院内処方では3.55種類、院外処方では3.88種類となっている。

また、年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど「7種類以上」の割合が高い傾向となっている。(表17、図18)

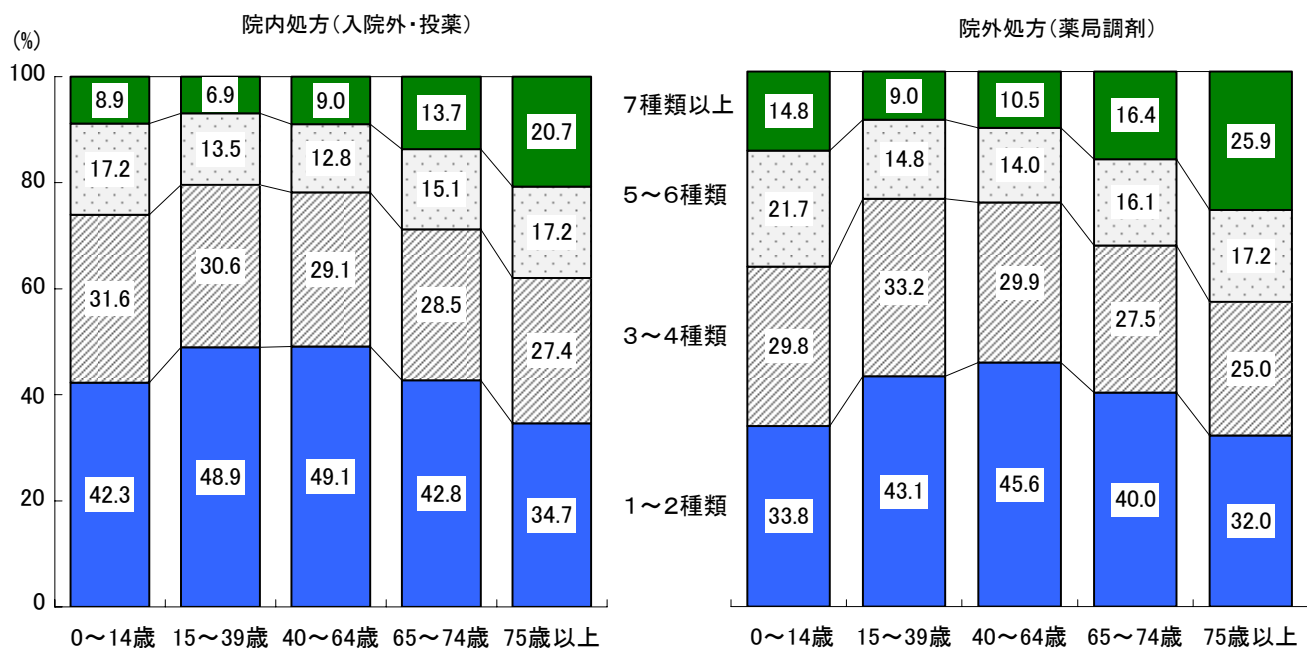
表17 院内処方 – 院外処方別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数

	(単位:%)											1件当たり 薬剤種類数
	総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	22.7 (23.3)	21.1 (21.8)	16.7 (16.6)	12.4 (12.2)	8.8 (8.4)	6.1 (5.8)	4.2 (3.8)	2.7 (2.8)	1.8 (1.9)	3.6 (3.4)	3.55 (3.48)
一般医療	100.0	24.7	22.2	17.1	12.6	8.5	5.5	3.5	2.1	1.3	2.4	3.28
老人医療	100.0	17.0	18.1	15.5	11.7	9.4	7.8	6.1	4.3	3.1	7.0	4.30
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	19.6 (19.9)	19.8 (20.2)	16.1 (16.6)	12.8 (12.6)	9.7 (9.2)	6.7 (6.5)	4.7 (4.6)	3.4 (3.3)	2.3 (2.3)	5.0 (4.9)	3.88 (3.84)
一般医療	100.0	21.0	20.9	16.8	13.3	9.8	6.3	4.1	2.8	1.8	3.2	3.59
老人医療	100.0	15.6	16.7	13.7	11.4	9.5	7.6	6.3	5.1	4.0	10.1	4.74

注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 薬剤名無記載は、1種類としている。
 3) ()内は平成17年6月審査分

図18 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 薬剤名無記載は、1種類としている。

5 薬効分類別にみた薬剤の使用状況

薬効分類別薬剤点数の構成割合をみると、入院では「抗生物質製剤」が最も多く、次いで「生物学的製剤」、「腫瘍用薬」の順となっている。院内処方では「循環器官用薬」が最も多く、次いで「その他の代謝性医薬品」が多く、院外処方では「循環器官用薬」が最も多く、次いで「中枢神経系用薬」が多い。(表18、図19)

表18 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合

(単位: %)

(各年6月審査分)

	入 院		院内処方 (入院外)		院外処方 (薬局調剤)	
	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中枢神経系用薬	9.0	8.5	8.4	7.3	10.4	9.6
感覚器官用薬	1.6	1.2	3.2	3.0	4.4	4.7
循環器官用薬	7.3	6.9	23.8	24.4	26.6	26.7
呼吸器官用薬	1.0	0.9	2.4	2.1	3.4	3.4
消化器官用薬	5.3	5.1	7.8	8.0	9.5	9.6
ホルモン剤	1.6	1.6	6.3	6.1	2.2	2.0
泌尿生殖器及び肛門用薬	1.0	0.7	2.2	2.2	2.2	2.6
外用薬	1.0	1.1	4.3	4.4	4.5	4.7
血液・体液用薬	9.0	8.5	3.9	3.7	5.0	5.2
その他の代謝性医薬品	6.5	7.6	8.7	10.8	8.0	7.8
腫瘍用薬	9.9	9.0	5.0	4.5	4.5	4.5
アレルギー用薬	0.4	0.3	4.0	4.2	5.6	6.0
抗生物質製剤	14.8	15.3	3.0	3.0	3.4	3.2
化学療法剤	3.4	4.1	3.2	3.5	3.6	3.5
生物学的製剤	11.4	11.7	1.8	2.0	0.6	-
その他の薬効	16.9	17.4	9.4	8.0	6.3	6.5

注: 1) 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書(ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

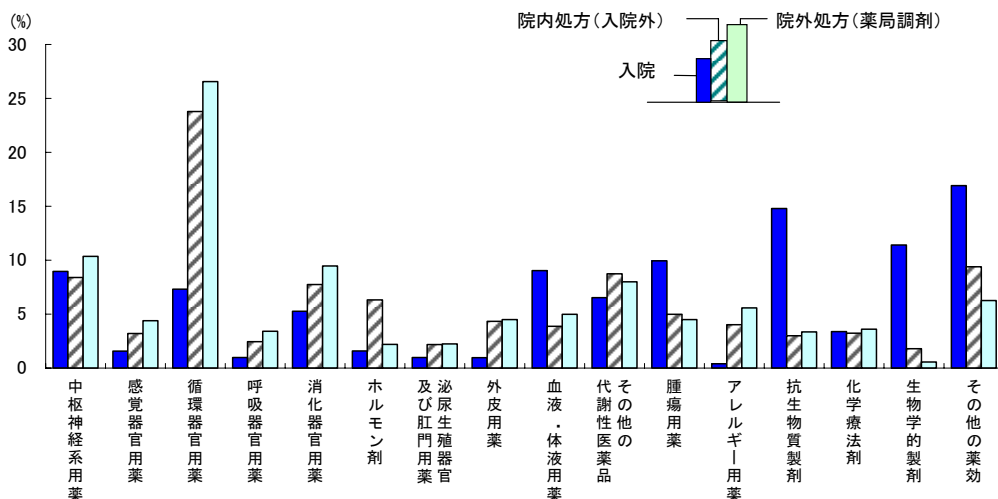
2) 「総数」には、薬剤名無記載を含む。

3) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

4) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「ビタミン剤」、「滋養強壮薬」等の分類を含む。

図19 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた薬効分類別薬剤点数の割合

(平成18年6月審査分)



注: 1) 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書(ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

2) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

3) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「ビタミン剤」、「滋養強壮薬」等の分類を含む。

6 後発医薬品の使用状況

後発医薬品の出現した明細書の割合をみると、入院75.2%、院内処方48.6%、院外処方41.4%となっている。

また、一般医療、老人医療別にみると、いずれも老人医療の割合が高い。

薬効分類別後発医薬品の使用状況をみると、入院では「血液・体液用薬」が最も多く、院内処方及び院外処方では「循環器用薬」が最も多い。(表19、図20)

表19 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた後発医薬品の使用状況

(各年6月審査分)

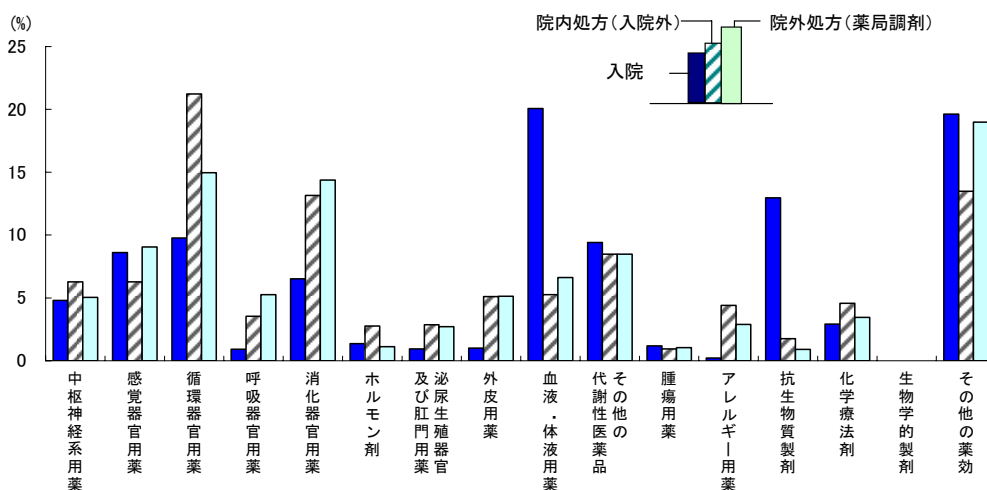
		平成14年 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)		
							一般医療	老人医療
後発医薬品 明細書出現率 (%) (注2)	入院	66.6	70.3	74.3	75.2	75.2	71.3	80.8
	院内処方(入院外・投薬)	43.6	46.4	47.8	46.0	48.6	45.8	56.6
	院外処方(薬局調剤)	36.7	40.0	39.1	38.9	41.4	38.6	49.5
薬剤点数に占める 後発医薬品の 点数の割合 (%)	入院	3.7	4.1	4.7	4.9	5.1	4.9	5.3
	院内処方(入院外・投薬)	6.8	8.0	7.8	8.0	9.0	8.8	9.2
	院外処方(薬局調剤)	4.5	4.9	4.5	4.7	5.3	5.2	5.5
1件当たり 後発医薬品の種類数 (A)	入院	0.78	0.81	0.96	0.98	0.97	0.86	1.13
	院内処方(入院外・投薬)	0.73	0.77	0.80	0.76	0.85	0.77	1.07
	院外処方(薬局調剤)	0.52	0.59	0.57	0.57	0.62	0.56	0.80
1件当たり薬剤種類数 (B)	入院	7.58	6.54	6.62	6.49	6.46	5.93	7.20
	院内処方(入院外・投薬)	3.72	3.57	3.58	3.48	3.55	3.28	4.30
	院外処方(薬局調剤)	3.82	3.87	3.86	3.84	3.88	3.59	4.74
1件当たり薬剤種類数に 占める後発医薬品の 種類数の割合 (%) (A)*100/(B)	入院	10.3	12.4	14.5	15.1	15.0	14.5	15.7
	院内処方(入院外・投薬)	19.6	21.6	22.2	21.9	23.9	23.4	24.9
	院外処方(薬局調剤)	13.6	15.2	14.9	15.0	16.1	15.7	16.9

注：1) 入院及び院内処方は、「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

$$2) \text{後発医薬品明細書出現率} = \frac{\text{後発医薬品が出現した明細書件数}}{\text{明細書総件数}} \times 100$$

図20 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた後発医薬品の薬効分類別薬剤点数の割合

(平成18年6月審査分)



注：1) 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書(ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

2) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

3) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「ビタミン剤」、「滋養強壮薬」等の分類を含む。

統 計 表

(医科診療)

第1表 件数・診療実日数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成18年6月審査分)

	総 数		入 院		入 院 外	
	件 数	診療実日数	件 数	診療実日数	件 数	診療実日数
総 数	70 512	159 704	2 028	32 575	68 484	127 129
一 般 医 療	52 794	104 344	1 111	15 158	51 683	89 186
老 人 医 療	17 718	55 360	917	17 417	16 801	37 943

第2表 診療行為別点数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成18年6月審査分)

診 療 行 為	総 数	入 院	
		入 院	入 院 外
		総 数	
総初診 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	159 717 479	75 084 435	84 633 044
再診 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	15 881 745	85 583	15 796 162
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	8 633 755	608 250	8 025 504
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	3 768 121	120 697	3 647 425
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	16 415 042	3 063 881	13 351 161
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	7 560 840	1 813 262	5 747 578
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	20 782 809	1 600 346	19 182 463
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	8 483 736	4 374 972	4 108 764
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	3 089 423	2 198 326	891 097
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	2 438 001	382 149	2 055 852
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	11 282 568	2 017 514	9 265 054
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	11 312 116	9 437 974	1 874 142
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 949 929	1 589 247	360 682
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	589 474	266 701	322 773
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	41 852 905	41 848 649	4 256
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	5 676 598	5 676 598	.
		一 般 医 療	
総初診 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	95 328 628	38 129 994	57 198 634
再診 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	12 105 523	55 368	12 050 155
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	5 877 040	368 842	5 508 198
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 778 821	66 828	1 711 993
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	11 351 126	1 659 915	9 691 211
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	5 018 816	922 638	4 096 178
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	13 277 748	894 418	12 383 329
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	4 615 424	2 194 652	2 420 772
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 487 100	912 192	574 908
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	2 040 927	291 651	1 749 276
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	6 036 768	678 701	5 358 067
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	6 985 397	5 720 993	1 264 404
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 341 665	1 150 121	191 543
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	411 829	214 799	197 030
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	19 173 020	19 171 424	1 596
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	3 827 151	3 827 151	.
		老 人 医 療	
総初診 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	64 388 851	36 954 441	27 434 410
再診 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	3 776 221	30 215	3 746 006
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	2 756 715	239 409	2 517 306
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 989 301	53 868	1 935 432
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	5 063 916	1 403 965	3 659 951
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	2 542 024	890 624	1 651 400
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	7 505 061	705 928	6 799 133
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	3 868 312	2 180 321	1 687 991
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 602 323	1 286 134	316 189
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	397 074	90 498	306 576
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	5 245 800	1 338 813	3 906 987
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	4 326 719	3 716 981	609 738
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	608 265	439 126	169 139
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	177 645	51 902	125 743
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	22 679 885	22 677 225	2 660
診療 在宅 画像 注射 リハビリ 精神科 処置 手術 麻酔 放射線 入院 診断 群分類 による	1 849 447	1 849 447	.
入院時食事療養(単位:千円)			
総 数	56 046 435	56 046 435	.
一 般 医 療	25 666 035	25 666 035	.
老 人 医 療	30 380 400	30 380 400	.

注: 「総数*」には「入院時食事療養」を含まない。